

【島根県芸術文化センター「グラントワ」】

島根県立石見美術館 2022年度・企画展、特別展

4月9日(土)～5月30日(月)

会場:展示室D

企画展 竹久夢二と乙女たち

あこがれの美人、ときめきのモダンライフ

大正から昭和初期にかけて乙女たちの憧れの的となった竹久夢二を中心に、美人画のほか、書籍や楽譜を彩ったモダンなグラフィックデザイン、華麗な挿絵原画、かわいいグッズなどを紹介します。

竹久夢二《セノオ楽譜「夢に見る君」》1924年 個人蔵



7月2日(土)～8月29日(月)

会場:展示室A・B・C

企画展 平川紀道・野村康生

既知の宇宙！未知なる日常

石見出身の平川紀道と野村康生による二人展。それぞれの新作を発表するほか、共同で手がけるインスタレーションも展開します。アートとサイエンスの領域をまたぎ、国内外で活躍する気鋭のアーティストが、作品を通して私たちの感覚を刺激し、未来について考える手がかりを提示します。

平川紀道
《a study for spacecolorltime》
2019年

野村康生《PION》2020年

7月23日(土)～8月29日(月)

会場:展示室D

特別展 松江泰治 JP-32

国内外の地表を独自の視点で切りとる写真家、松江泰治が島根県を空撮したシリーズ、全40点を紹介。私たちが暮らす土地の、これまで気づかなかった姿が明らかになります。

松江泰治《JP-32 07》
2018年 当館蔵

9月17日(土)～11月28日(月)

会場:展示室C・D

企画展 交歓するモダン
機能と装飾のポリフォニー

1910-30年代のヨーロッパでは、アーティストたちが国やジャンルを超えて交流し、建築やインテリア、衣服、印刷物などで、その後の画期となるようなユニークな作品を多数生み出しました。本展では彼らの交流と情報の流通に注目し、新しい造形と思想が探求されたさまを紹介します。

マルセル・ブロイヤー
《クラフチェアB3 (ワシリーチェア)》1925年 豊田市美術館蔵

2023年2月4日(土)～4月3日(月)

会場:展示室A・B・C

特別展 受贈記念

彫刻家・澄川喜一の仕事

澄川喜一(1931年～)は島根県吉賀町生まれの彫刻家です。本展では島根県に寄贈された、約100点の作品群から選りすぐりの彫刻作品と、屋外彫刻の図面・スケッチ・下絵・デザイン・絵画など「澄川喜一の仕事」を紹介いたします。



澄川喜一《そのりのあるかたち97-3》1997年 当館蔵 撮影：山崎信一

まちなか劇場 vol.1 グラントワ×海の芸術村 デルマーレキアーミ

劇場がまちにやって来る!

海辺の小さなコンサート
～音楽と旅するひととき～

2022年4月23日(土)

15:00開演(14:30開場)

会場:海の芸術村デルマーレキアーミ

出演:～Ki-Ko!～合奏団

料金:一般2,000円/会員1,500円

※中学生以下無料 ※要事前申込/定員30名 ※申込受付開始:3/26(土)

いつでもどこでも音楽祭

4/24[日]

会場
美術館ロビー

開場15:00

開演15:30

観賞無料

(要事前申込)

詳細お申込みWEBページ



申込受付開始3/28(月)

いつでもどこでも音楽祭



出演・石見音楽文化振興会所属メンバー

演劇を始めたい・続けたいあなたのためのヒントがいっぱい!



演劇つくろ! グラントワ演劇工房

3日間でリーディング公演をつくろう!

～出演者・スタッフ大募集～

講師

劇作家・演出家・俳優

舞台照明家・プロデューサー

表現家



坂井陽介さん 真咲郁さん

演技実践編

4/29(土)

祝金

9:30～19:00

4/30(日)

祝金

9:30～19:00

5/1(月)

祝金

9:00～17:00

グラントワ大ホール・小ホール 2023(令和5)年 耐震改修工事中 4月末(予定)まで

石見美術館、多目的ギャラリー、スタジオ1・2、中庭広場は、通常どおりご利用できます。

グラントワ 2022年 会場・中庭広場ほか レ・ロ・ロ 5月1日(日) 10:00～14:00

ご石見美術館
利用案内

【開館時間】 9:30～18:00(最終入館17:30まで)
【休館日】 毎週火曜日(祝日の場合開館、翌平日休館)
年末年始(12/29～1/3)
【料 金】 一般1,000円/大学生600円/小中高生300円
※観覧料は企画展のみの料金 ※特別展(常設展含む):一般300円
※企画展により観覧料が変更になる場合があります。

【雪舟の郷記念館】

企画展「雪舟等楊 終焉の物語～室町から令和へ～」

室町時代の画聖・雪舟等楊は、その生涯のうち何度も益田を訪れ、東光寺（現・大喜庵）で終焉を迎えたと伝えられています。雪舟没後から現代に至るまで、時代によって数々の雪舟顕彰活動が行われてきました。本展では、世紀を超えて継承されてきた雪舟に関する絵画、遺跡など幅広く紹介します。

- 会 期 4月16日(土)～6月26日(日)
- 会 場 雪舟の郷記念館
- 入館料 一般 300円(240円)、小中高 100円(80円)
※()内は20名以上団体料金
- 休館日 毎週火曜日、5/9(月)、5/11(水) ※ただし5/3(火・祝)は開館



水田幹子「桃の木」



高村光雲「雪舟禅師像」
(市指定文化財)

同時開催

特別企画「あの日せっしゅうになった！ part 2」

益田市雪舟顕彰会は昭和55年第三次同会結成以来、市内の幼児を対象に「絵の好きな子どもを育てる幼児の絵画展」を開催しています。今回は平成23年から令和2年までの“雪舟特別賞”受賞作品を展示します。子どもらしい色彩豊かで自由な表現をお楽しみください。

共催：益田市雪舟顕彰会



「こいこいこいのぼり」



「しあいスタート！」

◆ 雪舟の郷記念館 乙吉町イ1149 ☎ FAX 24-0500

こんにちは

としょかん

です

益田館：☎ 22-4222
美都館：☎ 52-2481
匹見館：☎ 56-1144
<https://library.masudanohito.jp/>

こどもの読書週間

毎年4月23日～5月12日

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにもとても大切なことです。子どもに読書をすすめるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

楽しいおはなしと手遊び盛りだくさん♪

春のスペシャルおはなし会

4月24日(日)
10:30～11:30

3月25日(金)～
参加申込
受付中！

- * 【場所】 益田館 2階視聴覚室
- * 【対象】 幼児～小学生（親子）
- * 【定員】 先着 25組 ※定員になり次第締切
- * 【出演】 もこもここの会
- * 【申込方法】 益田館カウンターまたは電話で申込みください。

保存期間を過ぎた雑誌をお譲りします！

- ・冊数制限はありません。ご自由にお持ち帰りください。
- ・美都館の雑誌も益田館で配布します。
- ・雑誌付録は、イベント開催時に配布予定です。上記期間に付録は含まれません。
- ・新型コロナウイルスの感染状況により、急きょ中止となる場合があります。

【期間】 5月8日(日)～11日(水)

【時間】 10:00～15:00

【場所】 益田館 前庭